

教 科	科 目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
国 語	言語文化	1・2年 福祉科	2単位	新編言語文化 (数研出版)	ビジュアルカラ ー国語便覧 (大修館書店)

到達目標	① 国語の知識や技能を身に付け、理解を深める。 ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ③ 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いを深める。 ④ 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	---

評価の観点	① 知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙等を理解し、知識を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。目的に応じて、様々な文章を的確に読み取ることができる。 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	積極的に活動に取り組み、国語や言語文化に対する関心を深めている。自分の考えを深めたり発展させたりしながら、進んで表現したり理解したりするとともに伝え合おうとしている。

学習の評価	1 定期考査では①「知識・技能」②「思考・判断・表現」を中心に評価する。 2 予習状況・課題の提出状況・授業中の発問と応答によって③「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 1の評価に2および出席状況を加味し、総合的に評価する。
-------	---

単元	学習内容	学習到達目標
地域の「ことば」	「とんかつ」 5級漢字	・登場人物の行動や言葉から、物語の流れを理解し、心情を読み取ることができる。
古文の世界を楽しむ	「古文に親しもう」 「児のそら寝」 4級漢字	・歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解する。 ・古文に親しみをもち、話の面白さを理解する。
日本語の中に生きる漢文	訓読のきまり 「格言」	・訓点の意味、書き下し文を理解する。 ・格言のもとになった話を理解する。
受け継がれる古典	「羅生門」 4級漢字	・主人公の心理と行動の変化を正確に読み取り、情景描写に留意しながら文学作品を読むことができる。 ・主人公の心情を場面ごとに考えることができる。

<p>詩歌を味わう</p>	<p>「短歌」「俳句」 「詩歌の魅力」 3級漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朗読により詩のリズムを味わう ・詩の主題を捉え、解釈を深める。 ・韻文の特徴を知り、心地よいリズムを味わうとともに、言葉から情景と心情を読み取る。
<p>現代にも生きる教え</p>	<p>「高名の木登り」 「ある人、弓射ることを習ふに」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の人生観や古典の世界観を味わい、意欲的に読み進めることができる。 ・敬語の種類、副詞の呼応等を理解する。
<p>故事と成語</p>	<p>「助長」 「漁夫の利」 3級漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語のもとになった話を理解する。 ・学習した故事成語と現代の日本語との関わりについて理解を深める。
<p>ことばを吟味する</p>	<p>「舟を編む」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書編纂という仕事の内容を読解することで、日本語の持つ文化的背景について理解を深める。
<p>古文の世界を楽しむ</p>	<p>「検非違使忠明」 3級漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の表現などについて理解することができる。
<p>語感を磨く</p>	<p>「側転と三夏」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の中にある俳句の特性を理解する。 ・小説と俳句の融合といえる本作品から、言語文化のつながりと流れを感じ取る。
<p>故事と成語</p>	<p>「虎の威を借る狐」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語のもとになった話を理解する。
<p>記録する文学</p>	<p>「沖縄の手記から」 3級漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場や考え方を持つ登場人物たちの心の動きを、会話や情景描写から読み取る。 ・戦争小説の読解を通して、平和についての思索を深める。
<p>昔と変わらない人の心</p>	<p>「芥川」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。
<p>論語の言葉</p>	<p>論語 準2級漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・儒学の祖である孔子の思想を知り、考えることができる。